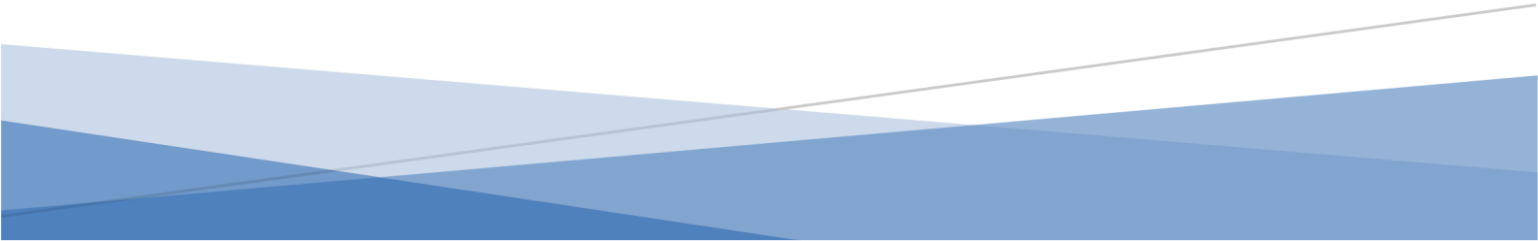


第 9 回
議会報告及び市民との意見交換会
報告書

令和 6 年 6 月
宜野湾市議会



1. はじめに

宜野湾市議会では、議会の権能を発揮し、市民生活の安定や福祉の向上、市政の発展に寄与することを目的に「宜野湾市議会基本条例」を制定（平成 28 年 7 月 1 日施行）しました。

同条例に基づき本市議会 9 回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。昨年に引き続き、会場及びホームページにおいて実施いたしました。

日程としましては、5/14（火）～15（水）の 2 日間、4 会場にて開催いたしました。内容としては、まず令和 5 年度における各常任委員会の審査状況報告を行い、その後に市民との意見交換を行い、4 会場合計で 63 名の参加がありました。

そして、会場に来られない方のために、昨年に引き続き、4 月 26 日（金）から 5 月 15 日（水）の 20 日間、インターネットやアンケートによる意見募集も実施いたしました。

その結果、市民の皆様に会場およびインターネット上などで、口頭及びアンケートにより御意見を募り、99 件の貴重な御意見をいただきました。

皆さまからいただいたご意見やご要望は、市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、議会として政策立案や市長への政策提言につなげるよう努めてまいります。

また、いただきましたご意見等への対応結果については、市議会ホームページで公表してまいります。

２．議会報告及び意見交換会の概要

（１）会場での開催方法及び日時等

① 開催日時等

開催日	会場	出席議員名	参加者数
5月14日(火) 19:30～21:00	嘉数小学校 地域連携室	伊波 一男副議長 下地崇、桃原功、山城康弘 上里広幸、座間味万佳、知名康司 又吉亮、伊佐文貴、宮城優 宮城克、知念秀明、棚原明	18名
	宜野湾市 社会福祉センター	呉屋 等議長 平安座武志、伊佐哲雄、松田朝仁 プリティ宮城ちえ、宮城政司 我如古盛英、屋良千枝美、上地安之 石川慶、岸本一徳、嶺井拓磨 濱元朝晴	17名
5月15日(水) 19:30～21:00	普天間小学校 地域連携室	呉屋 等議長 又吉亮、伊佐文貴、宮城優 宮城克、知念秀明、棚原明 下地崇、桃原功、山城康弘 上里広幸、座間味万佳、知名康司	15名
	真志喜中学校 地域連携室	伊波 一男副議長 我如古盛英、屋良千枝美、上地安之 石川慶、岸本一徳、嶺井拓磨 濱元朝晴、平安座武志、伊佐哲雄 松田朝仁、プリティ宮城ちえ 宮城政司	13名
合 計			63名

② 内容

- （１）開会のあいさつ
- （２）議員紹介
- （３）議会報告

○常任委員会における令和５年度中に審査を行った議案等の一覧

○総務常任委員会報告：

- ・議案第1号 令和5年度宜野湾市一般会計補正予算（第8号）

○経済建設常任委員会報告：

- ・議案第16号 令和6年度宜野湾市水道事業会計予算
- ・議案第15号 令和6年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計について

○福祉教育常任委員会報告：

- ・議案第27号 宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について

（4）議会報告に関する質疑応答

（5）意見交換会（市政、議会運営、市民生活に関する課題、その他）

（6）閉会のあいさつ

③会場の風景

1. 嘉数小学校（参加者数18名）



2. 宜野湾市社会福祉センター（参加者数17名）



3. 普天間小学校（参加者数15名）



4. 真志喜中学校（参加者数13名）



(2) ホームページ掲載内容

①議会報告

会場で報告した上記内容と同様

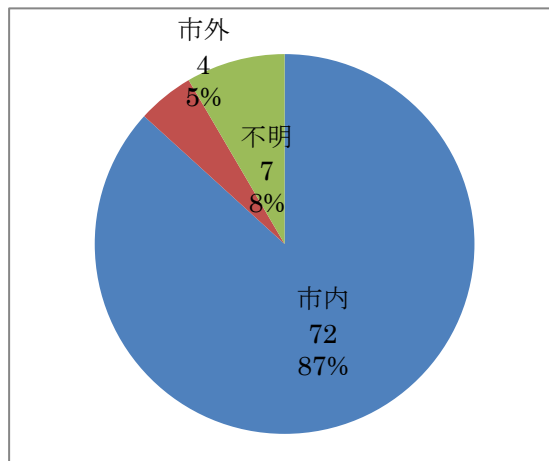
②アンケート

議会報告への感想、市議会について又は地域や暮らしについての設問ご記入いただき、メール、ファックス、郵送、事務局窓口にて受付。（35、36 ページ参照）

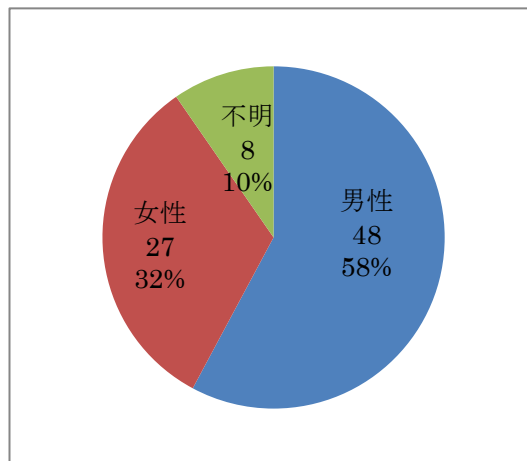
3. ご意見の内容

(1) 提出者の属性等集計

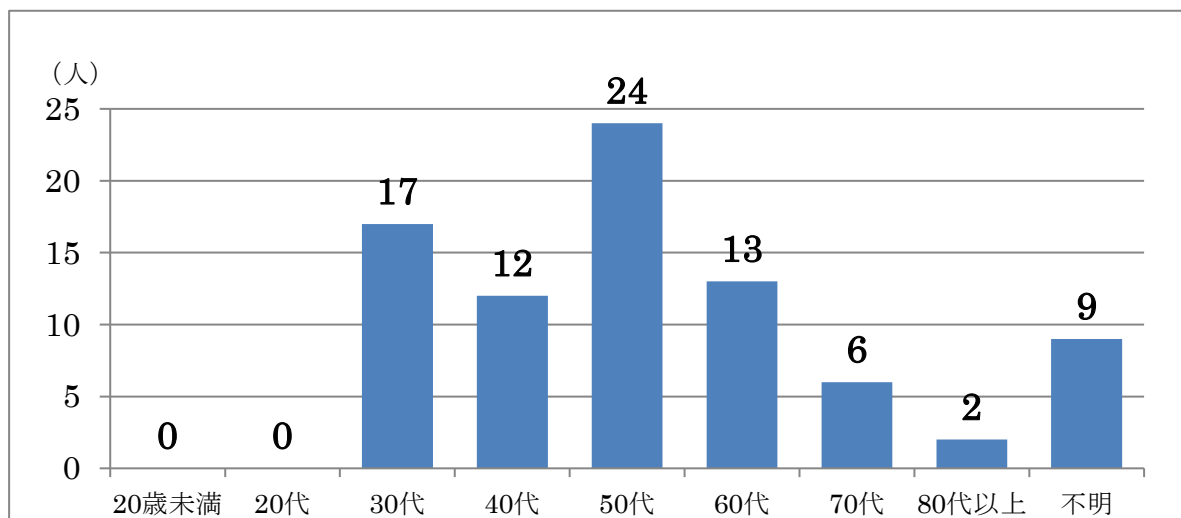
お住まい



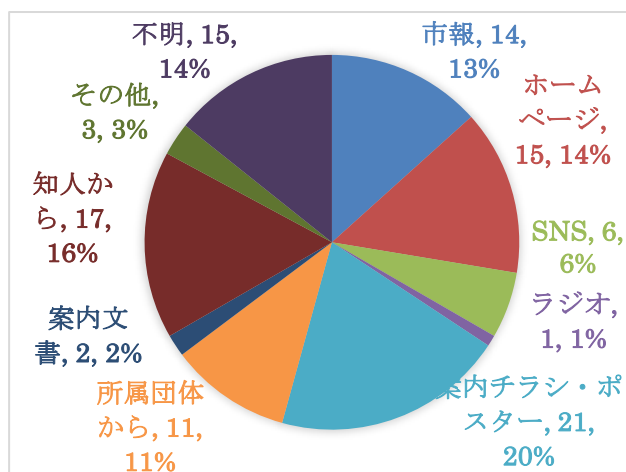
性別



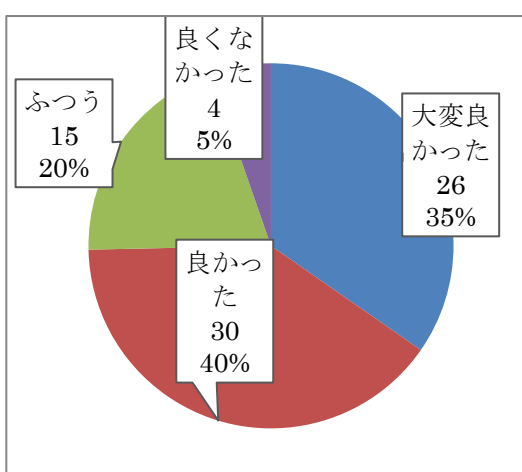
年代



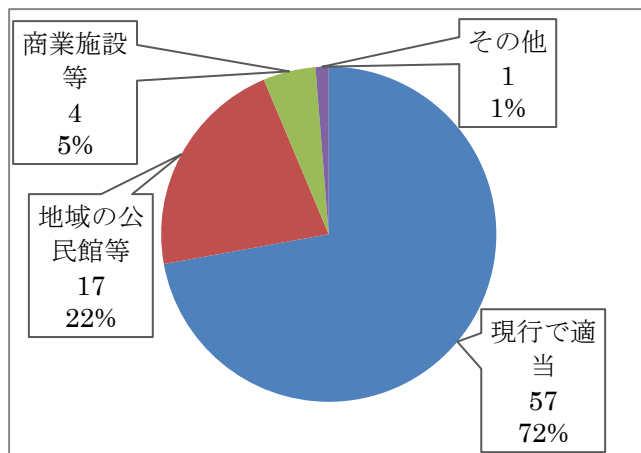
周知方法



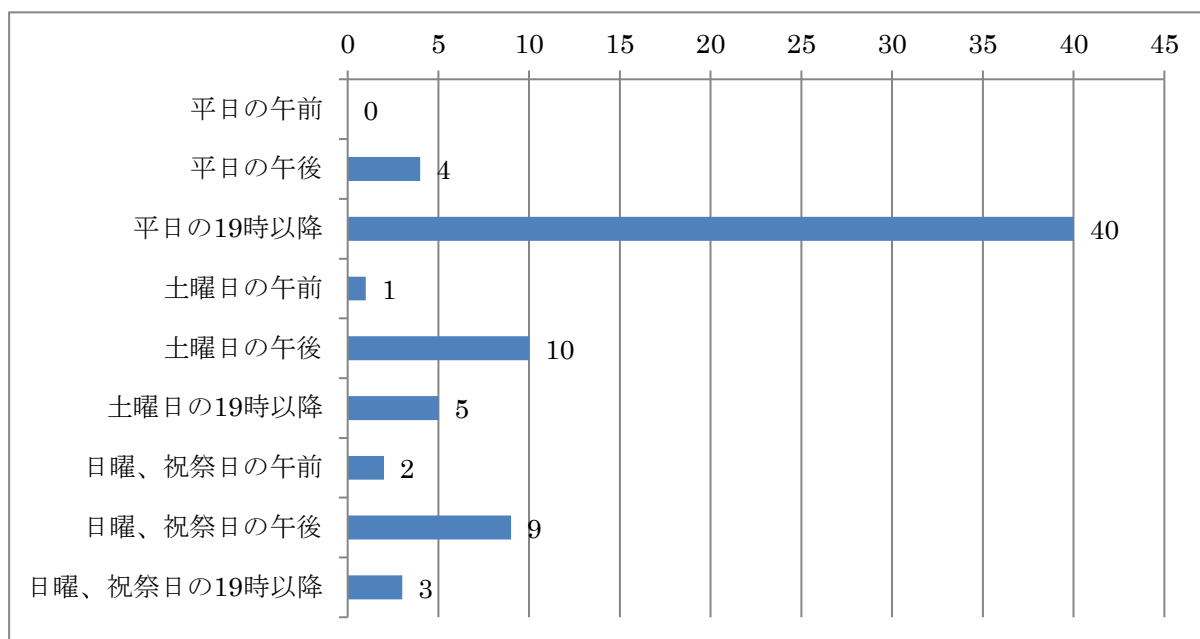
開催方法



開催場所



開催希望日時



(2) 議会報告についての主な意見・感想

議会報告の開催方法について

- 医療的ケア児が一緒だと会場参加がままならない為。
- 当日都合がつかない方でも意見表明できるから。
- 直接市民の声を聞くのは良いことだと思う。けれど全市民から正直な意見を聞かないと改善されないことも多いと思う。
- 開かれた市議会という意味では大変良い。

- 開催日に都合がつけられず、参加が厳しい状況でしたので、ネットでの意見募集の開催方法は、大変助かりました。
- 開催を TimeLine で知れて良かった。
- 貴重な意見、疑問等を抱えている方が多くいて他人の考え、要望を知ることができてよかった。
- 当方後期高齢者であること、PC・スマホの文明の利器なし。
- 議会の議員の皆さんが会場まで参加して、市民の声を聞くスタンスが大変良かった。
- 4日前に自宅でチラシが入っていて、インターネットを見ていない人にとっても急な日程である。
- 平日の時間で良いと思う。参加者は毎回同じ人(自治会長等)
- ・日頃余り分からない情報を知ることができた(災害弱者)
 - ・予算、海浜公園(屋外ステージの完成がおそい)
- もっと前から開催の事、宣伝してほしい。
- 若者はITを利用したほうがよい。今後も活用すべし。
- 初めての参加でしたが市政について‘知る’きっかけになったので良かったです。
- 知らなかった。
- 会場に直接参加できない市民にも意見が出来る仕組みは大変良かったと思います。
- 対面で開催は、議員の皆様をより身近に感じることができました。一方、若者の参加者が少なく残念に思いました。
- 4中学校区で開催しているので、どの地域からも参加しやすい。
- 介護や育児等、どうしても来場できない市民の声を届ける大変良い手法だと思います。
- 会場では発言しにくいと考える人も多いと思うのでよい方法だと思う。
- 初めての参加でもっと議会について知るようにしたいと思いました。
- 市民の代表である市議の皆さんからていねいな報告がありました。
- この会の前に市民の質問に答えるだと良いのかな？と思った。
- ホームページ知らない、使わない人多いし、関心ない人が多いみたい。

議会報告の内容について

- まだ見れていないため。
- ホームページにわかりやすく記載されていた。
- 議題は何か判りにくい、簡潔に示すべき。特に市民の意見を伺いたい事案などを明示しておくより良いと思われる。

- 「報告」は、仕事などの任務を与えられた人が、与えた相手に「途中経過」や「結果」、「現時点での状況」などを告げることを指します。そこには自分の私情を挟むことは少なく、起きている事実を相手に伝えることにフォーカスが置かれていますが、議会活動の報告内容にはどこことなく曖昧さを感じるのが率直な印象であります。
- 途中のムービーがとても良かったが、めっちゃめっちゃ速くもったいなかった。それ以外は勉強不足すぎて、質問も答えも良く分からなかった。特に福祉関係は知らない事が多くて難しかった。
- 要点をつかんでわかり易く説明をしていたことがとてもよかった。
- 市長の代弁者と思う。議会は市政を追及すべし。
- 特に又吉議員がアニメ動画を使用して分かりやすく説明しているのが良かった。
- 用語の意味は理解できるが、専門の用語を交えたうえでもう少しかみ砕いてもよいと思う。
- 各議員の説明がゆっくり話していて、分かりやすかった。
- 説明を受けて「なるほど」と思うことが出来た。自主防災も大切ですが一人ではどうすることも出来ないこともたくさんあります。
- 報告内容が少ない。せめて5件ぐらいは報告してほしい。形だけのように感じた。
- アニメーションを使われているのはよかった。
- 説明はわかった。でも報告数が少ない。
- 丁寧な説明で分かりやすかった。早すぎたプレゼンはもったいない。
- むずかしい内容も分かりやすく説明されていたと思います。
- 専門用語が多い。もう少し分かりやすくお願いします。
- 常任委員会における審査内容についても報告書に添っての説明で大変分かりやすかったと思います。
- アニメ動画による説明が大変良かったです。
- 経済建設の動画が分かりやすかったが、説明と同時進行だとどちらを聞いた方がよいかわからなかったなので、動画のみを流す時間も設けたほうがよい。
- 説明が市民の目線で分かりやすかった。特に動画での説明はわかりやすくとても良かった。参考になった。
- 緊張感があってよかった。
- 専門用語に対する説明、イラストを用いた説明があり丁寧に対応してもらっていると感じた。
- 総務？経済マンガ○福祉？
- 1回目難しい、2回目で理解。それが参加人数に関連すると思う。

議員の話す内容について

- 相方（質問者）の考え、要望を的確にしっかり把握していることがとても good
- 市民に対し失礼千万と感じた。
- 議会活動や議員個人が勉強されていて説明しているのが良かった。
- 質問がむずかしい、声をあげないで質問してほしい。
- 明確な情報を把握していない中でも、丁寧な回答を心がけていたと思料します。
- 議員さん方は、やはり、市民の事を考えて下さっているのだなあと感じた。
- 質問に丁寧に応えて下さっていた。
- 市民からの質疑についても、根拠規定等も交えながらの説明でわかりやすいと思いました。
- 意見に対する回答が時系列を交えて説明していたので、過去の間緯まで知ることができ、大変勉強になりました。
- みなさんていねいに説明してくれた。
- スクリーンも大きく、又、書類もカラー使用でとても見やすかった。
- スライドの動きが速すぎてよく見れなかった。見ていいのか、聞いていいのか分からなかった。
- 動画は分かりやすかった。
- だいたいわかったが、答えになってなかったような？回答になっていなかった。
- 説明は長くないほうが良い。

（3）会場における質疑・意見とそれに対する回答について

①議会報告に対する主な質疑

- Q 海浜公園屋外劇場の進捗率はどの程度なのか、また、進捗率の広報はどのように行われているのか教えていただきたい。
- A 現在、1工区という基礎の段階の工事は終え、これから建物を建てていく段階で、入札が不調に終わっているため工事がストップしている状況である。今後は予定価格と入札価格の乖離を解消するため、随意契約を活用して令和6年度に契約をして進めて行く段階になる。また、市民に対する広報については、現在、まだ入札も決まっていないため広報を行っている状況ではないが、市民から進捗状況の広報を検討していただきたいとの声があったことを行政へ提言してまいりたい。

Q 海浜公園屋外劇場の入札形態は単独企業なのか、共同企業体なのかどれくらいの収容人数を見込んでいるのか教えていただきたい。また、3回も入札不調になっているが、今後公共施設の入札を行う際に、同じことにならないような対策を取っていただきたい。

A 収容人数は8000人を見込んでおり、入札形態に関しては4共同企業体で入札を行い、不調に終わっている。当局からは今後、随意契約を行っていくと回答を受けており、予定価格については多くの議員から、市場に合わせて慎重に定めるよう提言をしている。

Q この議会報告及び市民との意見交換会を通して、議会から市長に対する政策提言を行っているが議長から説明があったが、市長の市政に対し、市民のために追求するのが議会の本分であると思う。今、各常任委員会より報告があったが、市政の説明をしているように聞こえた。市はこういうふうに予算化をして実行していると。なぜ実行しないのか、なぜこれだけの予算なのか、市民の声はどうなっているのか、現実にはどういうことが起こっているのか等の記載はなかった。配付された資料4にもあるように市長と議会は独立・対等の立場にあるはずだが、チェックアンドバランスが機能していないように聞こえた。議会はあくまで予算や条例等の議決をする機関であり、市民の代表である議員には、市政の悪いところを訂正してもらうことを要望する。

また、配付された資料の中に審査議案一覧があり、その中に令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定についてという議案があるが、決算の認定をした後に、行政の書類に法令違反等の事実があった場合、議会としてはどういう対応をとるのかを伺いたい。

A 法令違反ということであれば、顧問弁護士等に相談し、その後どうするかを議会で検討すると思われる。

Q 弁護士という回答があったが、地方自治法によれば、議会にはその権限があるはずである。議員は、地方自治法に基づいて議会活動をしているはずであり、もう一度勉強してもらいたい。司会からもあったが、後日の回答を願いたい。

Q 経済建設常任委員会の報告について、令和6年度水道事業会計予算の件で、令和6年度は赤字予算編成となっており、今後県は1㎡あたり23円の値上げを予定されているが、本市については必ずしも県の方針どおりではないという考えもあるようである。マスコミによれば、今回の値上げの中には、普天間基地由来のPFOS等の汚染除去の活性炭の費用が約1億円ほどかかるかとされており、そういったものについて国や米側に対し、除去に要する費用負担を要請してい

く予定はあるのか。また、生命にかかわるPFOS等の問題について議会としてどのような対策を取っているのか伺いたい。

A 令和6年度は県は水道料金の値上げを予定しており、赤字分については水道事業の剰余金を充てて対応することになっている。そして、市で料金改定をしていく場合、水道料金改定の審議会へ諮り、パブリックコメント等を経て議会の議決を得るという流れになっており、令和5年度中にはその手続きは行われていないため令和6年度中には料金改定はない旨、市当局からは説明を受けている。

PFOS等に関する行動については、桃原功議員をはじめとする多くの議員が一般質問等で取り上げており、議会としても令和3年の9月にPFOS等が含まれる水を河川等に流さないようにという内容の決議を全会一致で可決している。現状としては基地内への立ち入りが制限されている状況であり、今後の状況も注視し、議会全体でどのように取り組んでいくのか、議員個々でどのように追及していくのか考えていきたい。

Q 海浜公園屋外劇場建設工事について、24億円予算を計上しているとのことだが、PFIとか民間の資金を使うことの検討はあったのか。

A 当該事業は国の補助金を活用しており、事業費の24億円のうち8割が国の補助金を適用されている。これまで4回入札しているが、入札に至ってない。PFIについての検討がなかったわけではないが、国の補助金を活用して進めている中で、PFIにかえるようなことは厳しい状況であり、今の制度で事業実施していく予定である。

Q 繰越明許費について、前年度までしか資料がないが、ずっとこんな調子なのか。それとも今年と去年だけが異常なのか。データはあるか。また、このように繰越したら、次年度事業にも影響を与えると思うので、是非ともなくしてほしい。

A 近年、物価高騰等により建設事業において、かなりの額が高騰して予定の額よりも高くなったという説明が当局よりあった。

（「その前はそんなになかったのですね。」という声あり）

A 今年度の繰り越しについては、かなりの高額であることは間違いない。前年度も高額である。これまでの過去の繰越額は、その額までは達していないが、それなりの繰越額が通年出ている。今回、60数億円の繰越額があるが、当局に新年度事業への影響がないのか確認したが、特別影響なく事業実施を進めていく旨の回答があった。

Q 以前普天間高校の立地が良くないということで、西普天間地区に移設するという話があった。市のほうが地権者と交渉して土地を取得するという話があったが、普天間高校は今の地で存続していくのか。経過と今後の在り方を伺いたい。

A 西普天間地区が返還され、今の琉球大学病院又は医学部の一部が市の事業として進んできており、市は返還と同時に健康医療拠点としての位置づけで琉大病院の誘致をしていこうと、施策を展開している。そこには土地の確保が必要で、そこで市は地権者の理解をいただいて土地取得を行ってきた経緯がある。何年か後に、普天間高校移転の話が出てきたが、これは沖縄県の事業であり、当時の知事から急遽普天間高校の移転についての発表があった。その時点において、県の土地開発公社が地権者を回ったものの、すでに琉大病院の誘致のため地権者は市に土地を提供していた。県が急遽進めた移転計画については、土地の確保がほとんど行き届かなかったというのが経緯である。その施策については県の事業であり、情報は我々も持ち合わせていない。

Q 海浜公園の屋外劇場棟の繰越について、補正額として1億7900万円。これが令和5年度から未契約で令和6年度に繰越すということか。繰越した状況なので再繰越ができない。つまり令和7年度に繰越せないということが前提だが、工期的に大丈夫なのか。そして、令和6年度の14億2000万円は年度内に執行するわけであり、令和5年度から繰り越した物が完成しないと上に乗ってこない。令和6年度も繰り越してしまう可能性が大きいと思うが、本当に年度内に完成できるのか。

A 非常に厳しい状況と認識している。令和4年度に1工区という杭打ち工事が終了したが、2工区が箱ものであり、その箱ものの入札が不落に陥ったことで、1年間着手ができなかった。そこで令和5年度の予算を令和6年度の予算に15億3100万円繰越しをし、予算は、単年度が原則であるが、諸事情によって翌年度に繰越し、これが最終年度にきており、その15億3100万円、これは内閣府の補助金で8割補助、2割については市の負担分が発生している。そこで議会でもかなり当局とその部分では議論を交わしている。また、入札不落の理由は、予定価格が超過をし、それが4回続いた。臨時議会において、8億8000万円の予算を新たに増額し、予定価格の上乗せをしていく。それで見積り等をしながら仮契約はこの間終了しており、5月28日にもう一度臨時議会で議会承認手続きを取る予定である。ご指摘の内容について、15億3100万円は次年度繰越できないため、当局としては、繰越した15億3100万円を年度内に執行していく、

そして令和6年度に計上した予算については、令和7年度にも繰越手続きをして、工期を延長して完成させていく旨報告を受けている。

Q 私も土木行政を担当していたが、1つの工事として15億円というのはあまりにも大きい。屋外の事業であり、雨天が続くとかそういうところからすると、逆に令和7年度に先延ばしするぐらいの気持ちでないと、令和6年度予算も年度末に処理することになるとまた大変になると思う。もう少し執行部がしっかりしないと後々後悔するのかなと思う。

A その指摘内容につきましては、議会も全く同様の考え方であり、当局とかなり議論をした。当局側としては、1工区にも10億円あまりの投資をしており、予算には国との関わりがあり、そこで追加の予算を計上し、予定価格を上乗せして契約の運びを進めており、当局としては、来年の3月末日までに15億3100万円を執行していくと説明があったことから、今後も注視してまいりたい。

Q 繰越したものは頑張らないといけない。ただ併録の予算、これをいくら確保したらよいのかも検討していただきたい。

Q 総務常任委員会の件で、金額が大きくて難しいが、5ページの変更前と変更後を見比べるとアーチはないほうがよいし、それだけ削減できるだろうし、シンプルでいいなという感想である。

経済建設常任委員会のほうでは、アニメがすごくわかりやすかった。

福祉教育常任委員会では、介護の保険料基準が9市の中で1番低い6500円というのは、令和6年から令和8年までその金額で、令和9年から上がるということか。

A 令和6年度から令和8年度までが第9期という計画になっており、令和9年度はそれが消化してみないとわからないというところだが、社会状況を考慮すると、2025年には団塊の世代が75歳を迎えるということになり、介護保険の利用者が増えてくるので、介護保険料も上がってくる。基金を取崩すというのは、今まで積立ててきたものであり、9億4000万円の基金を4億円弱ずつ取崩し介護保険に回していくという計画で3年間行っていくことになる。

Q 介護保険料の件で、沖縄県内9市の中で1番安いとあったが、今回の改定で、全国の平均は6225円であり、決して沖縄県は安くはないということを認識いただきたい。

もう1つは、今後高齢化が進むという中でどうやって介護保険料を抑えていくかという対策は、高齢者の体力づくり。寝たきりにしない、ボケさせない等。今の値段はそれでいいが、次の計画で介護保険を必要としない方を増やしてい

くということが大切だと思うため、市のほうでも取組をお願いしたい。

A 介護保険料の全国平均が 6225 円で、最高額は大阪市の 9249 円となっており、2 番目に高いというのが沖縄県になる。県内で宜野湾市は 6500 円を維持するということでもかなり努力をしてきたところだと思うが、本市としても介護予防の取組や重症化を防ぐための取組に力を入れていかなければならないというのは、当局もしっかり受止めている。

②意見交換会における主な意見

市民) 真栄原の新町跡地の開発計画はどの様になっているのか、また、今の状況を教えていただきたい。

議会) 新しい保健相談センターの次の候補地として計画を進めているが、用地買収、用地交渉で予定より時間がかかっている状況である。保健相談センターが社会福祉協議会と移転するような形になるので、議会としても注視してまいりたい。

議会) 普天満宮の前の市街地整備事業と真栄原の新町跡地を同時に行っている事業であるが、真栄原の新町入り口の道から入っていった土地の用地買収を行っている状況である。また、普天満宮前の土地は交番を新しくしたり、山田真山先生の平和祈念像の原型があるが、そこと結ぶような道を作ったり、交流施設ができる予定となっている。

市民) 普天満宮前は松並木になるのか、なるのであれば根っこが張って歩道が悪くならないようにしてほしい。また、新しい保健相談センターには社会福祉協議会も併せて入ってくる予定があるということでのよいのか。

議会) 松並木になるとは現在のところ聞いていない。

議会) 社会福祉協議会も入ってくる予定がある。

市民) 議会だよりに自主財源でたばこ税により数億円の税収があったと記載があったが、このたばこ税の収入がよく分からないので教えていただきたい。

議会) 宜野湾市に入ってくるたばこ税は毎年 7 億程度で推移している。それが徐々に昨年の 6 月より、市外の方から宜野湾市の方に事業者が来ることによって、市の方に外国産のたばこ税が入ってくることにより、現在 22 億円の見込み額があるということで、国の制度によってたばこ税の限度額が設定されており、宜野湾市は 13 億、残りの 9 億円は県の方に来年度交付金という形で納める仕組みとなっている。この仕組みに関しては細かい話になるため、HP 等で答えてまいりたい。

市民) 市道宜野湾 11 号について、交通量が多いためガードレールを全体に設置できないか。

議会) ガードレールの設置基準の中で危険な箇所から先に設置していくというのがあり、それにより上原の一部にガードレールが設置されている状況である。御要望のあった宜野湾区から上原区までの直線道路については、自治体、市民の方からの御要望もあって、議会としても役所の方へ設置について提言している。その回答としては、要望があることは承知しており、交通量や危険度を改めて確認し検討させてほしい旨の回答を受けている。

市民) 市道宜野湾 11 号の歩道について、常時雨水が流れて歩きづらいため対処してほしい。

議会) 議会の一般質問等で指摘している状況であるが、再度、市民より要望があったことを議会として当局へ申し入れてまいりたい。

市民) 昨年より嘉数高台公園、比屋良川公園付近で不審火が続いており、まだ犯人が捕まっていないので心配である。自治会としても自主的にパトロールは行っているが、いつ何時不審火が起こるか分からないので、行政、消防側の不審火に対する対策強化は出来ないか要望したい。

議会) 大山区の方でも 7, 8 年ほど前に不審火が相次ぎ警察と連携して犯人を見つけたことがある。その時も自治会によるパトロールの強化を行っており、引き続きパトロールの方はお願いをして、議会もしくは行政の方から、警察、消防へいただいた御意見を申し入れてまいりたい。

市民) 私道の整備について、全くやらないではなくて、少しでも手助けをしていただけないか要望したい。

議会) 県内では那覇市、浦添市、沖縄市は公費で私道の整備を行っている。宜野湾市も多くの私道があり、今より改善できるよう議会として動いてまいりたい。また、一般質問を行った際に、当局より前向きに検討していくとの回答もあり、今後の動きを注視していただきたい。

市民) 老人会や女性会等会員数が年々減っている。加入促進の対策をお願いできないか。

議会) 老人会の活動の為に会費が必要となり、中身については市老人クラブ連合会、沖縄県老人クラブ連合会にお金を払わないといけないということで、そういった会費がネックなのか、またニーズが違っているのかそういったことも検討しながら、皆さんと一緒に取組みながら、進めていけたらと思う。お話を聞いて、老人会の育成であったりもするのではと感じたので、今後勉強させていただ

きたい。
市民) 自治会加入は減る一方であり、どうかしないといけないと感じている。議会も一緒になって、加入促進の取組を頑張っていただけないか。 議会) 自治会加入に関しては大変深刻な問題であり、会費の減少も含めて自治会の日々の活動も厳しくなっていると感じている。この減少を止めないといけないと思っており、こちらから積極的に働き掛けないと維持も厳しいところがある。今後も議員も含めて地域の事を一生懸命行ってまいりたい。
市民) 調べたところ、議会には地方自治法第 96 条に議会の権限として行政事務の検査・監査請求権というものがあった。それを十分に活用しているかどうかを確認したい。決算というのは一年間の締めくくりであり、法治国家である以上、行政においては法律に基づいて市政を運用せねばならないはずであり、本来は法律違反はあってはならないものとする。それをチェックするのが議会の仕事ではないか。顧問弁護士に確認してなどという、議会の仕事を放棄して市民の責任とするような回答では寛容できない。 議会) 先ほどからの御意見は、仮に決算の認定後に市当局の事務に違法性が認められた場合に議会はどのような行動を起こすかという質疑であるかと思うが、その認識でよいですか。 市民) 違法性の事実については確認している。そこで議会はどのように対応するかを伺いたい。 議会) その際には、議会でも確認ができた場合においては、その都度、地方自治法、法令を確認するが、私たちは全ての法律を把握しているわけではないので、ご教示いただいた地方自治法第 96 条に規定されているということも本日の実として刈り取らせていただきたい。
市民) コミュニティバスについて、議会はどのように考えているのか。中城村のコミュニティバスである護佐丸バスが宜野湾市内を運行しているが、本市ではなぜコミュニティバスが運行できないのか。 議会) コミュニティバスについては、以前から市の最重要課題として議会でも提言が多くなされており、政策提言でも取り上げられている。新たに地域公共交通推進会議が設置され、市長の 2 期目の政策の 1 つとして重要性和実施性について多くの会議が重ねられてきているが、市の自己負担分の予算確保に至っていないということで、予算確保の見直しを進めているとのことであり、議会としても今後も強く要望を続けていきたい。

市民) 本市には葬祭場がなぜできないのか。恩納村、具志川、豊見城まで行ったこともある。参加者のみなさんもどう考えますか、また、議員の皆さんもこの件について市当局を追及したことはあるか意見交換したい。

議会) 葬祭場に関しては、市議会や個々の議員に対したくさんの要望が市民から寄せられている。この6～7年間議員も一般質問等を行っており、議会としても市長へ政策提言を行っている。令和5年度に市当局において葬祭場建設のプロジェクトチームが設置されており、令和6年2月に東京都や埼玉県に職員が視察を行っている。令和6年度は基本計画策定業務を行い、令和7年度以降に実施設計業務、用地買収、工事委託など進めていくとの説明を受けており、その後に火葬場、葬祭場が建設されていくものと認識している。

市民) 何年か前に、近隣5市町村で作るという話があったはずだが、なぜその件に触れないのか。その計画はもうないということか。

議会) 以前は共同して中城に建設を予定していたが、今後は単独で建設をしていくのか、近隣市町村と広域で建設を行っていくのか、議会においても多くの議員が追及している。先ほども説明があったが、令和6年度に基本計画を策定し、その後実施計画を行っていく。それを作成していくには、単独で行っていくのかも含めながら、別スキームで検討しているということを市当局から説明を受けている。

市民) 確認したいのは、あったのであれば5市町村なのか、その計画は破棄されているのか、その後宜野湾市議会としてどう対応していくのかを確認したい。もう7～8年前の話と記憶しているが、高齢者にとって重要な問題である。

議会) 中城のある地域に予定はしていたが、反対運動によりその計画はなくなっている。

市民) その計画がなくなったのはいつか。マスコミ報道もあり中城が反対というのは知っている。その後の動きがないので質問している。

議会) 計画がなくなった時期についてははっきりした時期がわからないため、確認して後日回答させていただく。

市民) 野嵩3区は高齢化率が高く、過疎化しつつあり、空き家が目立つ状況である。5年ほど前に市に要請文を送ったが一向に改善が見られず、現状のままのものが多。毎年2回ほど草刈り作業も行っているが、そこだけ重点的に行うもので、他のところがおろそかになってしまっている。抜本的な対策を行ってほしい。

議会) 野嵩3区の実情ということで御意見をいただいて、持ち帰り検討させていた

だきたい。今回いただいた意見は、3 常任委員会に振り分け、その中で申し送りにするのか、政策提言にするのかは委員会の中で協議していきたい。 議会) 以前出された要請内容も調査させていただき、それから報告させていただきたい。
市民) お願いという形になるが、高齢の方から「タクシーがつかまらない」という問い合わせが公民館に寄せられている。今はアプリ等でタクシーを呼ぶことが多いのかと思うが、無線会社に連絡しても取らないので非常に困っているということである。会社等と調整して解決方法があれば。買い物や通院等に行けなくて困っているということであり、よい解決方法がないか。
市民) 市ホームページによれば、令和 5 年に基地被害 110 番に寄せられた苦情は約 300 件あった。これはほんの一握りであると考えている。なぜかという、夜中に連絡するのは一握りの市民の方であり、実際はそれ以上と思われる。昼夜問わない普天間飛行場の騒音に対しては、撤去しかないのではないかと思うが、市長も閉鎖返還の時期を明確にするよう求めているが、議会としても今後どのような行動を予定しているのか。報道等によると、あと 12 年もそのまま放置されるという状況があるが、市民はこれ以上我慢できないと思う。命や財産が危険にさらされている状況であり、一日も早く行動を起こしていただきたい。 議会) 基地被害 110 番については、苦情が増加の様相をたどっており、理由としては、ルートを変更したり、低空飛行をしたりしているのが主な要因であろうというのが市ホームページにも掲載されている。議会の行動としては、基地から派生する航空機騒音については、基地関係特別委員会において決議案を提出したり、議会運営委員会において扱いを決めて、その度に行動している状況である。 議会) 基地被害 110 番については、他自治体や外国等では事例があまりなく、伊波市長の時に設置されたようであるが、高齢者等は夜間飛行について 110 番という認識がなく連絡しないという実態もあると思われる。そういった意味で、寄せられるのは一握りであるというのはそのとおりであると考え。番号も分かりにくい面があり、防衛局などは 8 1 3 1 (ハイサイ) でわかりやすい。防衛局の番号も市報に、中に書くのではなく、外側に書けば市と防衛局の番号もわかる。現在はまだ中に記載されているので、わかりやすい箇所に記載するよう議会としても要望していけたらと思っている。

市民) 本市には、爆音、騒音、オスプレイの件など色々あり、また、海兵隊の普天間飛行場があるが、国からは補助金等含めていろいろな形で来ると思うが、県内で米軍基地又は自衛隊基地のある市町村における、国の補助金等の金額は上から何番目になっているのか議会は把握しているのか。

議会) 今のご質問について確認させていただきたいが、防衛関係の補助金について、どの市町村がどのくらいのレベルでもらっているかということでしょうか。

市民) 防衛も含めて、基地関係補助金のトータルである。直接来る補助金もあれば、受託事務の補助もあると思う。要するに普天間飛行場があるがゆえに、他市町村も受けている国からの補助金のランクを確認したい。

議会) 防衛に関しては、3条交付金や8条交付金、あるいは基地周辺の9条交付金もあり、総額の算定については不明のため、状況を確認して報告させていただきたい。

市民) この質問をしたのは、これまでの説明の中で市の予算が不足しているとの話があり、それならば迷惑料として取れるものはたくさん取ったほうがいいのではないか、その分を市民に還元すればよいと考えてこの質問をしている。皆さんも防衛や米軍関係へ要請等をしているはずであり、当然承知しているものと思って質問をした。市当局にも基地対策部があり、そこからも確認しているものと思って質問をした。詳しい額は把握していないとのことだがっかりしている。

議会) 順位付けに関しては、県内市町村の基地関連予算の順位に関しては把握していないが、宜野湾市の普天間飛行場のリーフレットによれば、市の基地関連予算が約50億円ほどであったと記憶している。基地を抱えるがゆえに騒音問題等もあるということで、もっと要求してもよいのではないかという御意見であると思うが、この普天間小学校の建て替えについても、本来であれば文科省の補助メニューを活用するところを、市長をはじめとする市当局が国と交渉もして、防衛省予算で建設されたという経緯もある。市内の公民館、学習等供用施設についても、高率の防衛補助を受けて整備を行っているが、この先まだまだ12年以上もある可能性も考えると、妥協せず、これだけの被害を受けていることも受け、議会としても行動をしていきたいと考えている。

市民) 現在名護市長が東京を訪れていると思うが、何のために行っているかは分かりのはずで、辺野古の基地等の問題に対して協定を早めに結んでほしいという要請で行っている。普天間飛行場の返還決定からすでに30年以上が経過しているが、そういう意味で基地関連市町村の首長会議があると思うが、議会についても集まりがあるのか。

議会) 県内においては、そのような集まりはないが、全国において、米軍基地、自衛隊基地を抱える市町村議会で構成する、全国基地協議会があり、本市議会も参加している。その中で国に対し、予算の増額の要求や、基地から派生する問題に対する解決について、全国の議会として、外務省、防衛省に意見書を提出している。また、基地を抱えている議員有志の会があり、昨年は山口県岩国市で加盟している全国の議長、議員が集まり、意見交換等を定期的に行っている。しかし、県内ではなく、今後は県内でもしっかりできるような取組が必要とは考えている。

市民) 日本全国で7割前後の基地が沖縄に集中しているという現状がありながら、全国の協議会しかないというのはおかしいと思う。県内の市町村が率先して、逆に全国に呼び掛ける必要があると考える。首長の集まりもいいが、議員同士も連携して、県民が何を望んでいるか、議会は何をすべきかを十分に研究してもらいたい。

市民) 子どもが重症の心身障害児並びに医療的ケア児であり小学校に通っている。大きな災害が全国で発生しており、いつ本市で起きてもおかしくないなか、昨年3月に宜野湾市避難行動要支援者支援計画が出された。私の子も個別避難計画書に同意し提出した。同意したことで避難行動要支援者名簿が避難支援関係者、いわゆる自治会や自主防災組織、民生委員、消防、警察等に提供されると同計画にあるが、今現在、自治会で名簿を受け取っている自治会は23区内で4区しかない。私の住む我如古自治会も受け取っていない。「半年以上前に同意した個別避難計画を出したが、自治会は受け取っておらず、警察や消防には回っているのですか。」と担当課に確認したが、市役所内で管理しており警察や消防にも回っていないとの回答があった。私が遠方にいる際等に災害が発生したとき、この地域に障害のある方や高齢者が住んでいる、そういう時に何かぱっと動いてただけの方、そういうことを知っているだけでも必ず違ってくると思う。計画を立てて1年以上経つが非常に遅く困っている。

議会) 避難行動要支援者の情報提供に関して、確かに遅れている状況がある。福祉推進部に確認したが、重要な個人情報が含まれておりその取扱いを契約できていないため進んでいないとのことである。議会としても一般質問等で取り上げ、情報を市だけでもっていても意味はなく、自主防災組織や自治会、民生委員等に情報を提供できるような仕組みを早く作っていただいて、さらに、個別の避難計画までしっかりと作るよう提言等を行っている。市議会としても行政に働きかけていきたい。

市民) スピード感がない。至急進めていただきたい。

議会) 実はこの計画事業は、平成 20 年あたりから防災の事業の対策費これが予算化された。その中で、避難行動要支援者をどうするかということで、全国の消防で 20 箇所モデル事業が始まり、これが宜野湾市はいち早く手を挙げて、その事業がスタートした。その時に委託先が市長部局ではなく、社協に委託され、おそらく 10 何年事業を担当していただいております、進んでいないということである。それともう一つは、一番ネックになっていたのは、当初は予算もついていないし、全く絵に描いた餅の計画であった。それが平成 20 年から要介護者と自主防災組織の二つが予算化されスタートし、災害はいつ起こるか分からない。そのために、平時にそういう防災対策をするのが当たり前ではないかと当局に提言してきた。自主防災組織はすべて 23 自治会、予算がわずか 20 万とか 30 万から始まり、すべての自主防災組織は整っているが、自主防災組織も阪神淡路大震災の時の教訓で、本来は小単位でやるべきだと、名簿がなくても隣近所の方々が、倒壊した家から救ってあげるとか、そういうふうな形で、小単位の自主防災組織を作っていくのが、阪神では教訓で、実際にできあがっている。宜野湾市はそこまでいっていないが、各自治会単位である。個別計画が災害弱者、一人では避難できない方々の計画を立てなければならないが、名簿を提出する、同意を求めるとか、そういうことをその計画の中でやっていくわけだが、そういう紆余曲折があり、やっぱり当局が直接タッチしなかったところが手薄だったのかなと感じており、我々議会も責任を感じなければならないと思っている。市民の命を一人でも多く助けていく、守っていくことが本来の公助としての役割だと思っている。そういう面では、個人情報扱いの方が少し当局で悩んでいる部分だと思っている。これについても災害が起きたらすぐ提出できると答弁はもらっているが、それでは遅いと我々議員は指摘している。そういう経過があり、個人情報で阻まれている部分、進んでいない部分、どうするかというのがしっかり決まっていない部分があり、十数年たっているが、そこが進んでいないのが現状である。それまた、傍観している市議会としても同じように責任がある立場だと思っており、今のご提言は受け止めて、当局をしっかり正していきたい、提言していきたいと考えている。

市民) 防災に関連して、長田区公民館は唯一 1 階が公民館、2 階が児童館になっており、1 階の自治会が普通の指定避難所、2 階が福祉避難所になる。去年の台風の際に、4 日か 5 日くらい公民館が停電してエレベーターも動かない状況であった。市の条例等で杓子定規に児童館は福祉避難所と定めるルールになって

いると思うが、実際電気が止まったので、長田区公民館全体を福祉避難所にするか、逆に普通避難所に指定するか、ソーラーパネルや蓄電池を設置しエレベーターを止めない等、現状に合った福祉避難所の在り方や対応策はないのか。

議会) 貴重なご意見であり、持ち帰って市当局に確認し回答したい。

市民) 初めての参加で、ぜひいい機会なので要望として聞いていただきたいと思い参加した。市内の小中学校における給食費の件だが、去年の新聞記事の情報だが、去年は令和5年度小中学校は無償化だったと。それまでも前の市長の政策で小学校は半額助成を受けているが、中学校は全額保護者自己負担。私も子育て世代なので去年はすごいありがたく、今は物価高で生活も大変な中で、中学生になると受験に向けての塾などいろいろかかってくる中でありがたかったが、今年度からまた元に戻って急激に4900円の負担はすごく大きく感じており、就学援助という仕組みがあるが、世帯の所得によって給食費の実費支給が免除になるという仕組みはあるが、所得によって制限がある中で負担に差があり、受けられる方と受けられない方の世帯の差があるというのはどうかと思うので、全額とはいかなくても小学校と同じように、中学校も半額助成が受けられる制度を予算として組んでいただきたい。先ほどの介護保険料の件に関しても、所得の段階が15段階に細かく分けたという報告があったが、これを見ても低所得者の方はマイナスになって手厚いなと思ったが、30代、40代の平均所得を見たときは下がる方もいるが、実際上がっているというのが現実。負担の差があるのはこれから子供たちを育てていく中でも負担があるので、ぜひ検討いただきたい。

議会) 給食費について、確かに今半額助成であり、これまでの歴代市長の公約として給食費の軽減を図っている。昨年度においては、地方創生交付金を活用し、給食費の半額の負担分についてすべて充てていきたい旨の相談が議会にもあった。交付金は毎年あるものではなく、昨年1年間は確かに全額助成であった。議会としてもそれは継続を求めている。ただし、給食費の財源が、一般財源で補助金に対応できず、市に余裕がないとこれに投資ができないという仕組みとなっている。今の提言については、みなさん同じ思いを持っていると思われるため、今後行政側ともそのように向き合っていきたい。

市民) PTAで保護者からよく声が上がってくるが、保護者で意見をまとめて議会にあげたほうがいいのか。今日の意見交換会で関係各所にあがるのか。

議会) 陳情の手段もちろんあるが、意見交換会の場の意見は、3つの常任委員会があり、今の提言については委員会で検証されていく。検証されたうえで取りまとめたものを市長に提言していく。陳情については、議会から出したほうがいい

というのではないが、陳情は自由に出せるので、皆さんのほうで検討いただきたい。

市民) 地域の課題で要望がある。私道ばかりで道路がかなり悪く、今県道が混むため抜け道として住宅の中を通るが、そこに穴凹がある。今までアスファルトを20袋とか50袋とかいただいて地域の力でやってきたが、地域が高齢化して、要望する側として厳しくなってきた。議員さんをお願いして、浦添市のように市道のように工事ができるよう頑張っていることは伺っているが、そちらが解決する前に、穴凹の修理は年に2回ぐらい自治会から市のほうにあげて補修してもらい、そういう流れが欲しいと思っている。

議会) この件は、地域の課題として議会でも度々出ており、浦添市や那覇市では補助金を出して地主さんが対応するというのは、隣の市町村でやっている。貴重なご意見がありましたので、担当課を呼んでしっかり回答できるようにしたい。

市民) 防犯について、コンビニ強盗事件があったが、犯人が早い時期に検挙された。その大きな要因として、防犯カメラがあげられている。20年ほど前に歌舞伎町で防犯カメラを設置しようとしたときに、地元住民、人権団体からプライバシーの侵害にあたるからやめろという声があったが、現状を見てみると連日のように凶悪な犯罪が起きて、その検挙は警察の努力もあるが、防犯カメラの役割が非常に大きい。市内には何個の防犯カメラが設置されているのか。10年以上前に野嵩の暗い道でひき逃げ事件があったが、犯人が捕まっていないと思う。防犯カメラが非常に重要な手段となっているので、今後も議論をしていただきたい。

議会) 我々も防犯カメラについて同様に認識しているところである。7年前だったかと思うが、国の10割補助を活用して市内に防犯カメラを設置している。これは地域によって台数がバラバラであり、普天間の歓楽街に7、8台設置しているが、大山区や宜野湾区は学校周辺に1台もついていない状況があった。台数は制限されているが、昨年学校周辺に移設をしている。公園にも設置されているところと、されていないところがある。当局のほうで、7年前にあった国の補助金について、近隣市町村と協力しながら再度補助金を出せないか求めている状況であり、担当課とも確認しながら進めていければと思っている。

市民) 4月3日の津波の避難指示が出た際、伊佐区は海拔2メートルで8割ほどが避難をしたと認識している。2割は要支援者の方々だったが、伊佐区は車で避難する方が多くて津波到着10分前までまだ下のほうにおり、実際に津波が来た時は危険な状態であった。基本的に徒歩がいいが、埋め立て地で液状化も心配である。徒歩で近くのビルに避難しても危険かなというのもあり、車で上に抜けていくように整えていただきたい。

議会) 今回の津波で、警報が鳴って我々も恐怖を感じたところである。今回は1時間の猶予があった。9時ごろに警報が鳴り、津波の到着が10時頃になると。これが10分、20分だとどうなのかと、そういった心配があると思う。我々、担当課とも話して、いろいろ課題等もあった。大きな予算がかかるので、これが可能なか確認させていただきたい。それ以外にも、市のほうでは総合訓練もやっていきたいと話があった。それがどういった規模なのか、伊佐区には企業も多く、市民にも災害時の危機感を持ってもらえるような意識づけも大切なのかなと思っており、私たちの委員会でも揉んでいけたらと考えている。

市民) 道路行政について、市道宜野湾11号はとても良いと思うが、国道330号につなぐ道路を今中原に作っているが、なぜあんなに遅いのか。他に道は作らないのか。

もう一つは、大謝名交差点から真栄原交差点までの道の混み具合をどうにかしてほしい。道を1本増やすとか。

議会) ご指摘ありがとうございます。まずは中原33号。国道330号から市道宜野湾11号に接続する工事をしている。みなさんの希望と行政の考え方が簡単ではない。土地の購入にも時間がかかっており、軍から返還させなければならない。また地権者に譲ってくださいという交渉も時間がかかった。地域の自治会長ともお話をしたが、開通するのはいいが次の問題は安全対策ですと。今まで流れてこなかった車が流れてくることで市民の方には怒っている人もいます。安全対策も行い、6月に入ってから開通をしていきたいと自治会長から当局に要望したいとあった。時間がかかっているというのは、地域の声も聞きながらというのが要因としてある。

議会) 県道34号線の渋滞については、朝夕大渋滞で問題になっている地域であり、令和4年に真栄原区、上大謝名区と大謝名区の自治会長とその地域に住む市議会議員と県議会議員と連名で県へ要請行動を行った。県と話し合いを進めていく中で、中期的な対策として一部路肩を縮小させたり、右折帯を設けたり改善している。中期的な対策だけでは交通渋滞が改善されているとは見えないのが現

状である。国道 58 号沿いにもう 1 本、歩道側を削る工事が進められているが、それでも交通渋滞の改善はしないのではないかとと思われる。長期的な対策としては、用地取得をしながら下りの 2 車線化、上りの 2 車線化という方法もあるが、真栄原から国道 58 号まで 800 メートルあり、両端の用地取得にすごく時間と予算がかかるのが課題である。

もう 1 本道ができればというお話であるが、宜野湾市の都市計画マスタープランの中で、真栄原・真志喜線という佐真下交差点から国道 58 号まで延びるといふ都市計画道路があるが、残念ながら事業化にいたっていないのが現状であり、米軍基地を通るといふ問題点があるため、平成 16 年あたりに防衛局とも調整したが難色が出て進んでいないというのが現状である。道路があと 1 本できれば県道 34 号線の渋滞はよくなると思われるので、都市計画決定道路の事業化を我々も市のほうと話し合いをしながら、事業化に向けて進めていければと考えている。市としてできることを検討していきたい。

（４）市議会及び地域や暮らしについて、会場及びアンケート等の意見

○医ケア児・重心児の福祉サービスや移動支援

現状：居宅介護での入浴サービス母なしでは NG。母が体調不良時などは診断書が必要とのこと。

→重心の子育てだと買い物や保護者自身の健康維持のための時間確保が難しい現状。少しでも負担軽減できる制度であって欲しい。高齢者介護は本人とヘルパーでの利用なのに子供の場合は保護者が必須だというのが疑問。保護者の了承や安全管理がヘルパーまたは看護師との相互確認で利用で可能になるような利用者と日頃の介護者のためのサービス拡張を望みます。

現状：移動支援利用時、保護者が同乗することは NG

→吸引またはアンビューなど日常的に医療的な介入が必要な子供の安全な移動に対応するために保護者の同乗の許可してほしい。でないとせつかくの移動支援自体が利用できない状態になってしまう。また、もし広い範囲で利用出来ないのであれば制度の利用方法のマニュアルのようなものがあれば支援業者との依頼の内容をすり合わせやすく、利用時に混乱せず話がしやすいと思います。

医療的ケア児でも軽度でも超重症でも在宅で普通の生活を望む家庭もあり現状を知って欲しいです。

○【市議会議員について】

現在、本市の財政状況は国庫支出金等の依存財源に72.4%、自主財源が27.6%(R3年)となっており、補助金無しでは破綻する状態である。国も、県も、市もお金の無い時代の中、我々を取巻く環境は問題が山積しています。これから先、無駄なものを削減し必要なところへ財源を投入し、次世代の為に市政を改革すべきである。そこで削減可能な事項についてであるが、市の予算に議会費なるものがある。比率的には0.6%程度で低く見えるがその中に含まれているであろう市議会議員報酬が1億3千万はあると思われる。4年間の活動報告を見て、議員に支払われる報酬に対し、費用対効果に疑問を感じる。それは選挙前に愛想笑いを浮かべて手を振っている姿を見た以来、見かけない訳だから、議員活動も所詮はそんなものだろうと推測できる。前回からの4年間、地域は何も良くなっていない。地域の路地も穴ボコだらけ。提案ですが、各区には区長が存在します。必要な報酬を支払い区長へ業務委託で活動して頂き定例会への参加も願います。その方が各区の為になります。全国に先駆けお手本になる市政運営を望む。

- 連鎖商法の被害者救済を目的とした条例を作してほしい。これを作れば、宜野湾市が全国から注目され、他の市町村の見本になると思います。
- 待機児童について。私の子供は2歳になっても保育園に入れなかった。役所に聞いても今は3ヶ月から預けるのでと言われただけだった。何年経ってもそれが改善されているように思えない。待機児童はいつになったら解消されるのか？ やっと2次募集で入れたと思ったら、保育園の園長先生に自宅近くの保育園は？ 小学校区域内の保育園に入るよう役所に問い合わせしてみてもと言われて、本当にがっかりしました。2次でやっと受かったのに、なぜここまで言われなないといけないのか？ 1次募集で自宅近くの保育園が駄目だったから空いてる保育園に申し込みしたのに。園長先生がそう言うのであれば、自宅近くや小学校区域内の保育園に確実に入れるようにしてほしい。保育園は働く親のために子供を預かってくれる場所であり、親だけで子育てをするものではなく、地域みんなでしていくもの。それなのに保育園には入れない、待機児童のきちんとした説明もされないまま何年も待たされるのはさすがに苛立ちます。国の少子化対策は馬鹿げています。あんなものは何一つ役に立ちません。市民の声を聞く宜野湾市なら、本当に子育て世代に必要なことを真剣に考えて下さい。
- 津波警報は、良い教訓となった、一方、大した津波はやっぱり来ないと思った人もいるだろう。備えるなら、海岸地区の避難訓練の参加率を上げる必要がある。東北では、参加した結果迷いなく非難ができた事例が確かにある。平日と休日に実施し、平日は事業者への参加を強く望む。訓練への参加者が増えれば、必ず被害は減りますし、問題点が明らかになり改善ができます。なお、渋滞するから健常者は一律徒歩で、というの

は対応が粗い。伊祖地区の宜野湾バイパス以西や宇地泊から真志喜の海側の一部は他の海岸部に比較して移動距離が大きく車両での移動も併用したほうが良い。訓練を重ねて、どこまで避難すれば良いかを把握し、過剰に移動しなければ、そこまで混雑しない。伊佐以外は概ね R58 まで登れば大丈夫ですよね。広報周知が難しいなら、「宜野湾バイパス以西は車両」でもよいかもです。でも、ほとんどの人がどこまで避難すればよいか「把握しない」から雑な、歩けという指示になるのでしょうか？まず海岸部利用者が、自分はどこまで逃げるべきか 100%把握させることを目標にしよう。

- 老人センターの駐車場はたくさんあり、赤道児童センターの駐車場が 2 台しか停めるところがなく、児童センターのクラブ活動の送り迎えの際に老人センターの駐車場に停めると、5 分もしないうちに老人センターの職員が駐車禁止の貼り紙をされます。児童センター利用の人も駐車できるようにしてほしいです。
- 公民館放送が宜野湾市の防災無線に切り替わった。特に、しまし公園のスピーカーが近い人には爆音、遠い人には聞こえない。防災無線を増やすか、それか代わりに公式 LINE の有料版への各自治会への補助が欲しい。
- 志真志 2-17 の志真志ハイツ集会所のポケットパークの遊具が撤去された。ただの広場になってしまったので、何かしらの遊具を入れてほしい。
- 長田 4-4-14(日進ホールディングス)から入る道にロードハンプを設置してほしい。以前から、地域からお願いしている。地域住民の署名も数年前に道路整備課に提出している。
- 長田区公民館・児童館の駐車場が狭い。特に、平日夕方子どもたちの送り迎えのときなどの混雑が激しい。公民館の横・向いに空き地があるので、周辺に土地を確保することができないだろうか？
- 旧統一協会問題について
国から旧統一協会への宗教法人解散請求が出された。一部の宜野湾市議会議員や前市長も台湾の旧統一協会のイベントに参加したという報道もある。旧統一協会の勧誘方法や高額献金は反社会的性格もある。また、旧統一協会のお金は国連で経済制裁決議を受けている朝鮮民主主義人民共和国にも流れており、核開発資金にも使われている可能性もある。他の市町村議会でも出されているような、旧統一協会との関係を断つ決議は出せないだろうか？また、宜野湾市は旧統一協会との関わりのある清掃業者との取引がある。取引も考え直した方がいいのではないだろうか？
- 世界規模で地球温暖化による気候変動が原因で発生する災害や、食料危機、飲料水の枯渇等のものだいがあります。そこで地球温暖化対策として市の取組んでいる事についてお聞かせ下さい。それから現代の暮らしを支えるエネルギーにつ

いても資源の無い日本が抱える脆弱性と、不安定な世界情勢も相まって先が見えない時代が到来した。そんな中、他府県・市町村によっては太陽光発電や蓄電池、電気自動車等に対する補助金制度が整備されたところもある。当市には全くそのような制度が無いのが現状である。財源が無いのなら費用対効果の乏しいものを削減（例えば市議会議員を廃止する）し、充当してはいかがか？また、普天間基地跡地利用についてはある意味、基地が緑地を維持している事から今後の開発計画に現行の緑地を破壊しない計画を望む。その緑地が大山地区の豊かな水源である事も考慮すべきである。

- 当市には、目立った基幹産業の拠点も無く、市の特産品も目立つ物が無いと感じる。強いて言えば唯一、大山地区の田芋ぐらい。しかし現状は農家の後継難や不耕作地、道路建設等の開発等で農地も減少していると感じる。そこで市の介入で他地域からでも就農者を募集したり、何等かの対策が急務だと感じる。田畑は自然環境を有効に活用できる立地条件（水源）でしか成立しない。開発を望む地権者もおられるが一度、コンクリートジャングルと化したら元には戻せない。人工物であふれた豊崎や美浜のような物を作っても自然環境を失った地域で人間の真の豊かさは得られません。ひとつの産業育成と、環境学習を兼ねた食育等を子供達に提供できる特色ある地域創りを他市町村に先駆けてみてはいかがでしょうか。
- 兄弟で保育園が違うので、送迎が大変です。バランスの問題なので改善してください。
- 市民広場の道路舗装お願いします！陥没してるくらい穴あいてます！あれじゃ危険でしょうがないです！お願いします！
- 宜野湾室内練習場を市民の人はもっと安くして欲しい。高すぎると思うので検討お願いします。
- 物価高騰で困っている。
- 佐真下公園前の交差点(特に公園から嘉数中向け)は事故が多い様に感じますが、右折矢印信号を作って欲しいです。
- 宜野湾市愛知二丁目■■■■の土地に隣接する近隣住民の方より、傾斜地の大雨等の際に起こる土石流の堆積について、苦情を受けております。早急に排水溝を里道に設置して頂きたいです。なお、役所職員の方には現場に立会って確認頂き、持ち帰られて検討するとのことでしたが、あれから半年以上になりますが、直接役所からの回答はいまだ何も頂けておりません。苦情案件に返答のない対応は、残念な気持ちであります。

- 非課税給付や子育て給付が他の市町村より少ないと感じます。また、特別児童手当の審査も厳しく、子供が何度も入退院して仕事が出来ない状況なのに支給対象外になりました。入院履歴や通院回数なども見て欲しいです。生活保護も、通院通勤の為に車が必要で対象外、ひとり親世帯の借入も返済能力がないとみなされ却下です。ひとり親世帯ですが、生活が困窮しています。フードバンクなどがあると助かります。
- 障害者自立支援事業所について
個別の案件について、ご意見をいただきました。
※個人情報への配慮のため、記載を省略しております。
- 小中学校の給食費無償化など、子育て世帯に対する支援をもっと充実させて欲しい。低所得者に対しての支援はよくあるがこれは、本当に低所得で支援を必要としている世帯なのか。低所得世帯だけではなく中間層の世帯のこともみてほしい。子育てしている世帯は特に新学期には出費もかなり多くなる。それを市や議会を通してどうにかしてほしい。前年度は給食費の無償でかなり助かった世帯は多いと思います。
- 私と同世帯の母親（90代）が老健施設に入居後、特別定額給付金の受け取り目的で兄が世帯主である母親の郵便物（保険証）の郵送先変更を繰り返したため、市国保課で相談したところ、この先住民票からも抜かれかねないので、防止のためにあなたが世帯主に代わるようにとの助言があり変更しましたが、結果的に住民票からも移動されました。市民課から母親の委任状があれば移動は可能とのことで、国保課の誤った助言でした。母親に確認したところ委任状のことは知りませんでした。有印紙文書偽造の可能性があるので確認をしたいと市に伝えましたが、市側のミスを認めることになるので断られました。また現在母親の居住先を兄は教えてくれず、市からも個人情報とのことで教えてくれません。母は高齢なのに安否確認もできません。私のようなケースは想定されていないので、ぜひとも改善して頂きたいです。
- 議員さんってどんな仕事してるのか知りたかったのと、どうしたら投票率が上がるのかなーと考えていたので、まずはこういうのに参加しないと思い初めて参加しました。思ったよりもピリピリしててビックリしました。それと、内容があんまり若者の興味を引く内容が無かったので、もう少しそういうのもあると友達を誘いやすいと思いました。

- タクシーについては、ライドシェアのオキジモが始まりましたので、そこから少しずつ解決に繋がればとは思いますが、個人的には有償でないと広がらないと思っています。
- 空き家対策については、「みんなの0円物件」はダメですか？うまくいってる地域もあるそうなので、是非検討してみてください。
- 常日ごろから市民の意見を述べる場を議会は準備してほしい。質疑に対する回答を期待します。以上。
- 市民生活の向上のために頑張ってください。
- PFOS、PFAS などの水質について調査してる民間の団体に対してももっと協力的に活動してください。
- 福祉振興基金をいただいて、大型バスを借りて市外にピクニックをさせていただいてありますが、助成金が少ないように思います。もう少し引き上げてもらえませんか。今年度は¥135,000 です。
- 火葬場は早めに作ってほしい。3～4日安置するのは大変です。特に夏場は。宜しく願い致します。本日はおつかれ様、ありがとうございました。
- 空き家が多く、過去5年ほど前に市に要請しましたが未だに改善がなされていない状況であり、毎年多くの区民が参加し草刈り等をやっていますが、今後倒壊のおそれ又火災がおきないか心配です。
- 横断歩道の白線が消えかかっている為、地域又学校長と5～6年ほど前から要請したが未だされていない状況である。（子供、高齢者があぶない）
- コミュニティバスは早めに実現して欲しいです。
- 年に1回の広告では、2回目もしてほしいです。
- コミュニティバス速めお願いしたいです。
- 社会福祉協議会の建物がかなり老朽化しており、いつ建て替えますか、早急に建て替えして下さい。社会福祉協議会は、どういう方たちが利用、使用しているか知っていますよね！
- 長田児童館は2Fにあるのに、福祉避難所なのは、運用上問題あるのでは。実際去年の台風で4・5日停電していた。エレベーターも止まっていたので、車イスの方や障がいのある方が2Fに上がるのは難しいと思う。
- 特定健診受診者の特典を高齢者にも拡大して欲しい。同じ市民を区別している。高齢者は受診しなくてもいいと思っているのか。
- 既に社会問題になっているが、30～40代の世代の参加がないのが気がかり・・・。地域・政治等に目を向けるような取組をしてもらいたい。

- バス停のベンチの件、バス停留所で炎天下や寒い日などお年寄りが重い荷物を持って長時間バス停に立っているのはたいへんつらいです。どうか、ベンチの設置を切にお願い申し上げます。
- 給食費について中学生の全額負担、年間約 43,000 円は大きすぎます。昨年の全額補助から紙切れ一枚で知らせがあり→全額負担に変更というのはとても雑だなと感じております。改善を求めます。子どもたちの未来のために。
- 市主導の津波の総合訓練の必要性が今回の台湾東地震によってあきらかになった。早めの取り組みをお願いしたい。
- 市道の街路樹の管理が悪いです。一部の地区だけがきれいでその他は自治会の定期清掃にたよっているのが現状です。市の担当課でしっかり整備していただきたいです。
- 大山区の区画整理事業が速やかに着工できることを切に願っています。
- 市道 11 号線と 10 号線の交差部の道路幅員の拡大
- 遅い時間までみなさんおつかれさまでした。今後も頑張ってください。
- もう少し具体的に発表したほうが次の参加につながる。
- より分かりやすく、良かった。今後も実施して欲しい。
- 真栄原比屋良川流域の樹木伐採について
同河川は、浦添市側からの樹木が生い茂り真栄原側まで太い枝がのびている現状があり、また大雨時は水位があがり枝が折れると漂流物で道路冠水の恐れがある。県の管理だと理解はしているが、整備依頼しても進展がない。行政や市議会でも整備要請が可能であればお願いしたい。地域の安全を守るためぜひ取り組んで頂きたいです。
- 私道の整備について何らかの助成をしてほしい。側溝のふたや、アスファルトの欠損による陥没、排水溝のつまりなど区内での要望が多数あり。行政側の見解も理解できるが、私道であっても一般車両に供用されているのでぜひ予算化してほしい。ご検討のほどよろしくお願いします。
- 佐真下サンエーV 2 1 前に歩行者用の横断歩道線と横断旗が設置されていますが、できるだけ信号機の設置をお願いしたいです。
- 真栄原児童公園に路上駐車（特に公園におむかえにくる保護者が目立つように思います）をしないように注意してほしい。看板設置等。
- 旧新町入口前に信号機を設置希望します。
- 市道 11 号線に入る手前の佐真下交差点の信号に右折表示をつけて下さい。4 方向必要だと思います。

- ホワイトタウン川沿い、真栄原1丁目比屋良川流域一帯木の伐採を県に陳情して欲しいです！！大雨や台風時は非常に危険だと考えます。
- 住宅防音事業の補助について
大山区はヘリによる騒音、振動が多いにもかかわらず「住宅防音事業」の補助対象地域になっていない。（特にパイプライン～基地フェンス周辺）大山区も補助対象地域に加えていただくよう強く要望する。
- 米軍機の夜間飛行について
夜10時以降も米軍機が頻繁に飛行しており睡眠できず強いストレスとなっている。心身ともに悪影響であり夜間飛行の中止を宜野湾市としても強く要請していただきたい。
- 護岸ドブさらいについて
田芋畑とバイパスの間にある旧護岸沿いの水路に不法投棄が非常に多く環境が悪化している。以前市で護岸のドブさらいを行っていただいたことがあり、再度実施していただきたい。
- 空き家対策について
空き家が増加しており草木などの環境悪化に加えて建物の倒壊などが懸念される箇所が目立つ。特に宜野湾市大山4丁目■■■■に隣接する建物は所有者が海外？にいる事情などから長年放置されており倒壊や建物の一部が落下する可能性が高くなっている。通学路に面しているため万が一児童に直撃するなどかなり危険である。行政で空き家対策として何らかの対策を講じていただきたい。
- 市道部分草刈伐採について
市道7号線沿いの雑草が歩道まで伸びて通行の妨げになっている。点字ブロックも覆ってしまっているため、草刈を定期的に行ってもらいたい。
- 側溝の整備について
大山小学校から児童センターにかけて縦切りされた区画があり、その筋道の多くに側溝の蓋がなく整備の必要性を感じる。車の落輪、子どもや高齢者の怪我につながる可能性も高いため行政による整備を強く要望する。
- 大山幼稚園の「公私連携認定こども園」移行に伴う交通安全対策について
カーブミラーの設置について
上記はまとめた要望となります。
令和7年度に大山幼稚園が「公私連携認定こども園」に移行することに伴い、登園・降園時の送迎車両が増加し路地の通り抜けも増えることが予想される。横断歩道の設置（※）など、通学路の交通安全対策に加え、送迎車両対策やカーブミ

ラー設置により地域住民、児童が安全安心に通行できるよう十分な対策を講じて
いただきたい。（※）横断歩道について令和５年度に市担当課へ要請済み。

- 昨日、今日と宜野湾市の情報としてラインで流すべきです！広報担当よろしく
すべき！初めて参加して少ない参加びっくり。実際参加して難しく意見交換会
にならない。見直し下さい。５時過ぎ放送ありますが聞きづらい。長いし何なの
か？
- 一度より二度で聞いて理解が出来たような感じでした。しかし、一度参加して
難しいので次の参加は無いのかもしれませんが。アニメの説明は分かりやすかった
です。議会報告の見直しをお願いしたい（わかりやすく！）。市議の皆さんを身
近に感じられて良かったです。議員の名前の側にどこの地域の議員なのか書いて
欲しいと思いました。会が終わって議員の皆さんと記念写真が取れたら良いなと
思った。１５年ぶりに真志喜中校舎を見て良かったです。市議の皆さん市民の代
表として頑張ってください。参加できて良かったです。第１０回目どう変わって
いるか参加楽しみです。

※ご意見は原則として、原文のまま記載しておりますが、宜野湾市情報公開条例の
規定に照らして公開不可と判断された字句に関しましては、一部黒塗り等の処理を
行っております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(参考)

締切日：令和6年5月15日

皆様のご意見を
お聞かせください。

議会報告アンケート

※市内在住以外の方は参考ご意見として承ります。

1. 今回の議会報告を何で知りましたか。

- ☐市報ぎのわん ☐市ホームページ ☐SNS ☐ラジオ
☐案内チラシ・ポスター ☐所属団体から ☐案内文書 ☐知人から
☐その他（ ）

2. 今回は、会場開催と並行して、議会ホームページ等においても議会報告及び意見募集を行っておりますが、開催方法についてどう思いましたか。

- ☐
- 大変良かった
- ☐
- 良かった
- ☐
- ふつう
- ☐
- 良くなかった

●上記の理由をお聞かせください。

3. 議会活動の報告内容はよくわかりましたか。

- ☐
- わかりやすい
- ☐
- だいたいわかった
- ☐
- 全く分からなかった

●上記の理由をお聞かせください。

4. 意見交換会において議員の話す内容はよくわかりましたか。(来場者のみ)

- ☐わかりやすい ☐だいたいわかった ☐全く分からなかった

●上記の理由をお聞かせください。

$$\left[\begin{array}{c} \\ \\ \\ \end{array} \right]$$

5. 次回の開催の参考として、開催場所や時間について伺います。

①開催場所について、参加しやすいと思われる場所をお答えください。

- ☐ 現行で適当（学校等）
 ☐ 地域の公民館等
 ☐ 商業施設等の人が集まる場所
☐ その他（ ）

②開催日時について、参加しやすいと思われる日時をお答えください。

- ☐ 平日の午前
 ☐ 平日の午後
 ☐ 平日の 19 時以降
☐ 土曜日の午前
 ☐ 土曜日の午後
 ☐ 土曜日の 19 時以降
☐ 日曜、祝祭日の午前
 ☐ 日曜、祝祭日の午後
 ☐ 日曜、祝祭日の 19 時以降

裏面へ続きます（ご意見の記載等はこちらへ）

6. 市議会や市政に対してご意見がございましたら、ご記入ください。

(市議会について、地域や暮らしについて等)

記入例) (対象の件、具体的な場所)について、(現状)となっており、
(困っていること)のため、(ご意見)して欲しい。

※できるだけ、上記の記入例を参考にご記入ください。

内容が把握できない場合は、検討致しかねますのでご了承下さい。

【性別】 ☐男 ・ ☐女 ※任意 【氏名】 () ※任意

【連絡先】 () ※任意

【年齢】 ☐10代、☐20代、☐30代、☐40代、☐50代、☐60代、☐70代、☐80歳以上

【お住まい】 ☐市内(字名) 例：野嵩、我如古等 ()

☐市外(市町村名) 例：浦添市、北谷町等 ()

氏名や連絡先等(任意記入)の個人情報は、いただいたご意見の内容等について確認が必要な場合にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。



ご協力ありがとうございました。